かず

實広島市長)は、昨年十一平和首長会議(会長 松井)

松井

月、副会長都市であるベルギー・

ィーペル市で第九回平和首長会



貫広島市長)は、

平和首長会議

(会長 昨年、

松井一等 国連総

-13

会において設置が決議された核

兵器の廃絶に向けた法的措置な



ギリスのマンチェスター市及び

ロンドン市を訪問し、関連行事

の出席や市長等との意見交換

展開設式典に出席したほか、イ る国連ウィーン事務所での原爆 オーストリア・ウィーン市にあ この渡欧の機会に、松井市長は、 議理事会を開催しました。また、

を行いました。

公益財団法人 広島平和文化センタ

〒730-0811 広島市中区中島町1番2号 TEL (082) 241-5246 (代表) FAX (082) 542-7941 E-mail:p-soumu@pcf.city.hiroshima.jp Hiroshima Peace Culture Foundation 平成28年(2016年)3月/年3回発行 [URL]http://www.pcf.city.hiroshima.jp/hpcf/

どを議論する公開作業部会に

いて、その組織会合が一月

この作業部会への積極的な参加 一十八日(木)にスイス・ジュ ブで開催されるに先立ち、

とともに、平和首長会議加盟都

会議の活動への支援を要請する 長にも本書簡を送付し平和首長

市に対し、このメッセージを各

と核兵器廃絶に向けた建設的な の国連加盟国に送りました。 二十六の役員都市の連名で全て 議論を呼び掛ける公開書簡を、 合わせて、潘基文国連事務総

もらうよう依頼しました。 国政府や市民社会に広く伝えて 【公開書簡 平和首長会議ホームページか

簡を発出

org/jp/activites/statement request/160122_OEWG_jp.pdf) らご覧になれます。 http://www.mayorsforpeace (平和連帯推進課

平和首長会議理事会

十一月十二日 (木)、十三日 (金) 第九回平和首長会議理事会を

十一月十一日 (水) 松井市長の主な用務 理事会に先立ち、

展開設式典への出席

いただきたい旨を伝えました。 さんと平和への思いを共有して 市長に面会し、二〇一二年に ファースコーレ たプレートを贈呈し、市民の皆 イチョウの苗木について説明し ィーペル市に贈った被爆樹木の イーペル市副 イェフ・

<u>目 次</u>	
国連の作業部会への参加を呼び掛ける公開書簡を発出/	
第9回平和首長会議理事会及び原爆展開設式典への出席 1~2)
第5回平和首長会議国内加盟都市会議及び日本政府に対する要請文の提出 … 3)
マンハッタン計画国立歴史公園専門家フォーラムへの参加/インターンの紹介 … 4)
被爆体験記「原爆の爆発の瞬間を目前で捉えた私	
それからの日々…命って不思議な宝」(鳥越不二夫)	•
被爆体験記の執筆をお手伝いしています/県外海外在住被爆者証言ビデオを収録しました… 6	
「国際平和デー」記念行事/ウェブ会議システムによる海外への被爆体験証言/	
「黒い雨」の壁など研究成果を発表	
国連軍縮フェローズの受け入れ/第13回広島市民平和友好訪中団の派遣 8	
被爆ピアノコンサートを開催/広島平和学習セミナー(大阪)を開催しました 9	

講演会「ヒロシマの木を知ろう」/第30回子どもたちの平和の絵コンクール/
収蔵資料の紹介「最後のことば」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ニロシマ・メッセンジャー決定/国際交流ラウンジをご利用下さい/
「ひろしま留学生基金」にご協力を
平成28年追悼平和祈念館企画展「原爆体験記 ヒロシマ原点の記録」/
追悼平和祈念館の入館者が300万人に到達 (2)
毎外からの来訪者が発信するメッセージ/「平和と安全保障を考える事典」 🔞
「姉妹・友好都市の日」記念イベント(ボルゴグラード、重慶、ホノルル) 👍
国際交流・協力の日2015
「ワールド・フレンドシップ・センターと共に」(山根美智子)/
有館の改修工車を行っています

インターネットでは、本財団ホームページ(上記URL)から、カラー写真掲載のウェブ版機関誌がご覧になれます。

して今後の取組等について議論開催し、十一の役員都市が出席

とすること、④青少年交流を涌 を決定しました。 事務局へのインターン招聘など じた被爆の実相の継承、 する啓発活動、②各国為政者へ 取り組むことにし、今後、集中 市を二〇二〇年までに一万都市 の被爆地訪問の要請、③加盟都 兵器の人道的影響とリスクに関 して取り組む事項として、①核 文言を削除した上で、継続して のうち、「二〇一五年まで」の までの核兵器禁止条約の締結 目標の一つである「二〇一五年 核兵器廃絶を求める行動指針 「二〇二〇ビジョン」について、 一日目は、二〇二〇年までの ⑤広島

また、核兵器廃絶に向けた活動に加え、平和首長会議規約第三条の規定に沿って、貧困・難三条の規定ととしました。併せて、次回総会を二〇一七年に下、次回総会は一年前倒しして、次回総会は一年前倒しして、次回総会は一年前倒してることを確認しました。

二日目は、国連公開作業部会

した。
文を採択して理事会を閉会しま請すること等を盛り込んだ決議請すること等を盛り込んだ決議

また、理事会に続いて二〇二〇ビジョンキャンペーン協会役員会を開催しました。に協会の事務局が設置され、以に協会の事務局が設置され、以に協会の事務局が設置され、以際を地域のリーダー都市を中心と各地域グループ化の推進に伴する地域グループ化の推進に伴する地域グループ化の推進に伴する地域グループ化の推進に伴する地域グループ化の推進に伴い、広島事務局にその所管を移い、広島事務局にその所管を移い、広島事務局にその所管を移りてとにしました。

十一月十四日(土)

平和首長会議リーダー都市と して積極的な活動を展開しているマンチェスター市を訪問し、 ポール・マーフィー市長にリー ダー都市認定証を手交するとと ダー都市認定証を手交するとと がしてでを発揮してもらうようお 原いしました。

に関する絵と詩のコンテストを同市内の小学校を対象に、平和事に出席しました。この取組は、る「プロジェクトG」の記念行る「プロジェクトG」の記念行

たものです。
大のイチョウを贈り、育ててもあることを目的とし識の醸成を図ることを目的としまかし、優秀校に広島の被爆樹

十一月十六日(月)

英国国会議事堂内の貴族院会 関の道のり、平和首長会議の活発な意 動についてプレゼンテーション がでいてプレゼンテーション がでいてプレゼンテーション を行った後、会場との活発な意 を行った後、会場との活発な意

その後、ロンドン市エドワーその後、ロンドン市エドワーとで、核保有国である英国の市上で、核保有国である英国の市上で、核保有国である英国の市上で、核保有国である英国の市上で、核保有国である英国の市上で、核保有国である英国の市上で、核保有国である英国の方見会議の活動に協力する旨を対した。

と約束されました。

メッセージを各国政府や市民社党を全加盟都市に送付し、このでを全加盟都市に送付し、このでを受け、二十六の平和首長会とを受け、二十六の平和首長会とを受け、二十六の平和首長会

しました。

十一月十七日(火)

器のない世界の実現に取り組むと、引き続き政府として、核兵は、引き続き政府として、核兵は、引き続き政府として、核兵は、引き続き政府として、核兵を対していることには、引き続き政府として、核兵器のない世界の実別に取り組むは、引き続き政府として、核兵器のない世界の実別に取り組むは、引き続き政府として、核兵器のない世界の実現に取り組むという。

また、国連ウィーン事務所で 行われた原爆展開設式典へ出席 しました。今回の展示は、ニュー ヨーク国連本部、欧州国連本部 に続くもので、式典会場は百人 以上の参加者とメディア関係者 び埋め尽くされ、関心の高さが で埋め尽くされ、関心の高さが の中で、この展示を多くの各国 の中で、この展示を多くの各国 の中で、この展示を多くの各国 の中で、この展示を多くの各国

した。



原爆展開設式典でスピーチする松井市長

平和首長会議の今後の取組

この度の理事会における意見で換や議論を通じ、リーダー都市のイニシアティブに基づく地市のイニシアティブに基づく地域グループ化が確認でき、今後の活動ることが確認でき、今後の活動のさらなる活発化に手ごたえを感じました。各リーダー都市と感じました。各リーダー都市と感じました。各リーダー都市と感じました。各リーダー都市との流れを加速するための取組とともに、被爆の実相と被爆者のの流れを加速するための取組とした。

(平和連帯推進課)

開会

第五回平和首長会議国内加盟都市会議総会」の開催及び日本政府に対する 核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文の提出

おいて開催しました。 加盟都市会議総会を、 五回目となる平和首長会議国内 昨年十一月九日、 十日に、第 広島市に

平和記念公園において原爆死没

資料館の見学などを行いました。

者慰霊碑参拝・献花、平和記念

聴講が行われました。その後、

淑子さんによる被爆体験証言の

が出席しました。 百二十六人(うち首長三十九人) 回は全国から八十六自治体・ 内における取組の充実を図るた 毎年一回開催しており、今 当会議は、平和首長会議の国

松井一實広島市長が開会挨拶を最初に、平和首長会議会長の 界的なうねりを作り出すよう、 行い、「核兵器廃絶に向けた世 慰霊碑参拝 ・献花を行う会議参加者

取組発表 会議Ⅰ(広島市における平和の

体の中から、広島女学院高等学 教授に日頃の取組について発表 そして比治山大学の森川敦子准 様々な平和活動を行っている団 していただきました。 聞ジュニアライターの皆さん、 続いて、広島市内において 本川おもてなし隊、中国新

として、最大限の協力を呼び掛

国内加盟都市会議の最重要課題

けました。

ロシマの記憶」の上映や、梶本

続いて、ドキュメント映画「ヒ

被爆の実相を伝えるプログラム

も青少年交流の促進について、 考えています。」と述べ、中で ていただくことが重要であると 各加盟都市における取組を進め

の報告 会議Ⅱ(平和に関する取組事例

及び岐阜県本巣郡北方町の室戸して、東京都小平市の小林市長して、東京都小平市の小林市長二日目の最初のプログラムと した。 今後の取組に資するものとしま 町長からそれぞれの自治体の平 和に関する取組事例の報告をし ていただき、加盟都市における

採択)、閉会 等)、会議Ⅳ(会議総括文書の 会議Ⅲ(議案の審議、意見交換

した。

請文の提出について了承されま に向けた取組の推進を求める要

長崎、平和首長会議とも連携し

ながら、 核兵器のない世界の実

「核兵器禁止条約」の早期実現

器国の橋渡し役として主導的な

爆国として、 核兵器国と非核兵

だいた。 日本政府は、唯一の被 しっかりと受け止めさせていた 長崎市の皆様の思いは、 **八臣は「平和首長会議、**

私自身、 広島市

役割を果たしていきたい。広島

等を行いました。 議事進行役を務め、 次に、松井市長が議長として 議案の審議

の後、出席者による自由な意見

務局から説明を行いました。そ

会議総会の開催地等について事

と述べられました。

(平和連帯推進課)

現に向けて取り組んでいく。

続いて、第六回国内加盟都市

動の強化について、了承されま 被爆の実相と核兵器のリスクに の平和首長会議行動計画におけ 関する啓発、二〇二〇年までに 加盟都市間の青少年交流の促進 る新規・拡充取組項目のうち、 した。また、日本政府に対する 一〇一三年から二〇一七年まで 万都市加盟を目指した要請活 議案の審議では、 まず、

第5回平和首長会議 🥪 国内加盟都市会議総会

第5回平和首長会議国内加盟都市会議総会で議事 進行する松井広島市長(左)と田上長崎市長(右)

要請文を受け取った岸田外務

した。

を岸田文雄外務大臣へ提出しまいでである。これでは、日本の関総理大臣宛ての要請文置三内閣総理大臣宛ての要請文

けた取組の推進について安倍兵器禁止条約」の早期実現に向

進課長が外務省を訪問し、「核

込んだ総括文書を採択して閉会 る多くの意見が出されました。 最後に、会議の概要等を盛り

しました。



平成28年3月 平和文化 第191号

マンハッタン計画 一歴史公園専門家ンハッタン計画国 オー ラムへの参

した。 と日本赤十字社長崎原爆病院の からは本財団の小溝泰義理事長 朝長万左男名誉院長が参加しまともながませる。 公園局によって開催され、日本 家フォーラムが米国内務省国立 国・ワシントンDCで、 ハッタン計画国立歴史公園専門 昨年十一月九日、十日に、米 マン

た「マンハッタン計画」の関係 大戦中に米国が原爆を開発し 本フォーラムは、第二次世界



専門家フォーラムの様子

う求めました。また、今後の展 す健康障害などの人的被害につ ともに、展示が被爆地の思いを き、広島・長崎の議論に耳を傾 求めるとともに、核兵器廃絶に いて説明を行いました。 熱傷や外傷、放射線が引き起て 見地に基づき、原爆がもたらす て、朝長名誉院長が、医学的な 用意があると伝えました。併せ 被爆資料の貸与等の協力を行う 踏まえた内容になるのであれば、 けていただくようお願いすると 向けた未来志向の展示となるよ が人々とその生活にもたらした 投下に至った経緯を事実に即し を伝えました。具体的には、展 解説計画に対する被爆地の思い 示内容の検討に当たり、引き続 是大な影響について伝えるよう て公平・公正に伝え、原爆投下 示に当たっては、原爆の開発 冒頭、小溝理事長は、公園の

ンの紹介

その後のフォーラム参加者に

公園の解説計画に含めるべき 参考とするため、専門家を集め、 するに当たり、解説計画立案の 行うために開催されました。 テーマについての意見交換等を 施設を国立歴史公園として整備 和」の項目が採択されました。 マについて、随時、上述の被爆 よる意見交換では、各展示テー

地の思いを伝え、これらの主張 に幅広い賛同が得られました。 経緯」、「原爆の影響」及び「巫 この結果、展示の主要テーマを 案を踏まえ、「原爆投下に至る 絞り込む中で、小溝理事長の提 (平和連帯推進課

国・バン タ コク市職 ィ イ 王 私は、 干国 はないでしょう。

100

バ・クラ 員のブサ ヤ

ダー都市であるバンコク市から チャイです。平和首長会議リー

> まに全く違う文化に溶け込める 与えていただき感謝しています。 平和首長会議で勤務する機会を を実現することを目指している ます。核兵器のない平和な世界 でインターンとして勤務してい 派遣され、昨年十月末から今年 経験の一つで、一生忘れること 験は、私の人生において最高の くれ、困っていることに手を差 いい人で、皆が私の面倒を見て 分かりました。ここでは、平和 も素晴らしい街だということが は、広島は、住むにも訪れるに かどうか不安でしたが、来日後 た。職場の同僚や上司もとても についても学ぶこともできまし 日本の職場環境、生活スタイル 広島大学の仕事に携わっており 首長会議、広島平和記念資料館 日前は、準備もままならないま 三月末まで平和首長会議事務局 し伸べてくれます。広島での経 広島での生活は順調です。来

> > 触れるたびに心を痛めています。 で悲劇的でした。被爆の実相に えていたよりも、もっと大規模 爆者の苦しみは、私がタイで考

広島に来て、専門家、関連文

い経験となりました。原爆や被 を学ぶことは私にとって大変良 経験していませんので、広島で 起こったことや被爆者の苦しみ 母国タイは、核兵器の被害を

ないと思います。

あっても核兵器を持つべきでは 兵器を拒否し、いかなることが ます。私は、あらゆる種類の核 平和の大切さを訴えたいと思い

島で経験し学んだことを伝え、 タイに戻った際には、私が広 いて学びました。

らに、放射線影響研究所を見学 を深めることができました。さ ことで被爆の実相について理解 学んだり、被爆者とお話しする 書、平和記念資料館、報道から

放射線の人体への影響につ

仕事中のクラジャンチャイさん



プロフィール 一 (とりこし ふじお) 昭和6年生まれ、85歳。 広島市内の崇徳中学校3年生 だった14歳の時、爆心地から2km 離れた自宅前の畑で、空を見上げ 戦後は小学校教師として勤務。 退職後、語り部として活動。 ひろしまを語り継ぐ教師の会副 会長。全日本ハーモニカ連盟理

被爆体験記

原爆の爆発の瞬間を目前で捉え それからの日々…命って不思議な宝

本財団被爆体験証言者 鳥越 不二夫

わらされたり、市内の建物疎開の校の生徒は、軍需工場で生産に携なりました。当時の中学校、女学 りました。 は祇園の三菱重工業へ行くことに作業にも駆り出されたのです。私 る病気だと診断されたので、六日 私は脚気というビタミン不足によ なりました。 た途端、学校での授業はできなく (月) に母と病院へいくことにな 八月四日(土)、健康診断があり

かって行きました。 やがて爆音は東北の方角へ遠ざ 前の畑に立って上空を一生懸命 ちは飛行機のエンジン音を聞き分 に探しました。姿は見えませんが、 食事を済ませると外に出て、家の にB29だと分かりました。私は ける訓練を受けていたので、即座 爆音が聞こえました。当時、私た に朝食をとっていると、かすかな 天気でした。奥の部屋で母と一緒 八月六日は朝からとても良いお

球に変わったのです。 然「パッ」とはじけ、物凄い光の るのが見えました。次の瞬間、突 中に何か黒っぽい塊が浮かんでい た、ちょうどその時、真正面の空 市内の建物をぼんやり眺めてい 閃光の中か

> そして立ち上がりかけた時、周り ぶさってきました。思わず瞼を閉突然、顔に物凄い熱風が覆いか り全く覚えがありません。 何かにぶつかりました。それっき じ、その場へしゃがみこみました。 なりました。 こり、体が宙に浮いたように感じ、 にザーッという物凄い風が巻き起

突然の惨状

ました。 事で何が何やらさっぱり分からず、 全く何も見えません。突然の出来 メントの防火用水槽でした。周り 家の前に置かれていた大きなセ しゃがみ込んだまま呆然としてい は煙か埃のようなものが立ち込め、 気が付くと、ぶつかったのは、

の中に腕をつけたり、顔に水をか ると、腕や顔にじりじりと焼け付 なるばかりでした。 痛みです。あまりの痛さに、水槽 腕の皮膚が真っ赤に焼け爛れてい けたりしましたが、痛みはひどく ます。顔や胸の辺りも同じような くような痛みが走ります。見ると、 だんだんと意識がはっきりす

の声を頼りにやって来て、「どう を呼ぶ母の声が聞こえました。私 大声で呼び、母は砂埃の中で私 は「お母さん、ここにいるよ」と しばらくすると、遠くの方で私

の溶岩のようなものが流れ出て、 杯に広がり、目の前が急に明るく ら、どろどろに溶けたオレンジ色 て泣き崩れました。

そのまわりから黄土色の光が空

山手町という小さな町で、家は山 ・ 原爆当時、私が住んでいた所は

家の前の畑で被爆

の麓のやや小高い所にあり、前方

には山陽線が走っていました。

しくなり、私が中学三年生になっ

一九四五年、戦況がますます厳

りました。

た人たちや、中広町の方からの避止した山陽線の列車から逃げて来 私の家にどんどん人が入って来ま 難者もいたようです。壊れかけた ごった返していました。付近で停 い」、「苦しいよー」、「助けてー」、 着ているものは焼かれ、肌は丸出 に連れ出すと、周りは沢山の人で 「痛いよー」と、辺りは助けを求め した。みんな、どす黒い顔をして、 しでボロボロです。「水、水を下さ

朦朧とした意識の中で

のトラックに乗せられました。着 小麦粉に酢を混ぜたものを塗って 腕の火ぶくれをハサミで切り取り、 が酸っぱい匂いでいっぱいだった。 中はけが人でごった返し、部屋中 ことを覚えています。私は、顔や いたところは廿日市の病院でした。 て、負傷した人たちと一緒に軍隊 夕方、私は近所の人に連れられ よー。」私は母の膝にもたれかかっ した。「お母さん痛いよー。熱い したの?」とびっくりした様子で

たそうです。

包帯で巻くという応急手当を受け

うちに息苦しくなり、意識も朦朧くれました。痛みを我慢している れ込み、布団はびしょびしょにな 激しい雨が降ってきて壕の中へ流 とし始めました。しばらくすると、 から布団を持って来て寝かせて て近くの防空壕へ運び、崩れた家 母は私を抱きかかえるようにし

> ら血膿が滲み出て、苦しい毎日で 戻ってからも高熱は続き、包帯か

个明の状態が続きました。 意識が

家に帰ってからの数日間は意識

した。

やがて、周りからいろいろな情

る声でいっぱいです。 やがて雨が上がり、母が私を外

真の平和」を願って

知りました。八月四日に会った友 出た級友が全員亡くなったことも 戦争に負けたことや、建物疎開に 報を耳にするようになり、日本が

、の顔が次々に浮かび、何とも言

えない寂しさでいっぱいでした。

議な宝だと思っています。 せで一杯です。命って本当に不思 の不思議さにふれながら感謝と幸 言われて来た私が、今年一月で 八十五歳を迎えました。改めて命 一十歳が限界だろうと医者から 被爆から七十年以上が過ぎ、

と人生も変わっていたかも知れま の跡が見えます。原爆が憎い。 いたい心境ですが、鏡を見るたび ら、被爆していなかったら、きっ し、原爆が落とされていなかった に、のどの部分に焼きついた熱線 原爆のことは、もう忘れてしま

とがあってはならない。ひたすら もなく平和の中に過ごせればどん なに幸せか。戦争によってかけが 「真の平和」を願ってやみません。 えのない命が犠牲になるようなこ 地球上に住む人達が、何の憂い

爆体験記の執筆を

供等に活用しています。 また、企画展やホームページ掲 聞き取りを行いました。平成 平成二十六年度までに百三名の り、体験記としてまとめるもの に出向いて被爆体験を聞き取 進むなか、「被爆の記憶を体験 成させ、館内で公開しています。 を行い、順次、被爆体験記を完 で、平成十八年度から実施し、 の事業は、祈念館職員が自宅等 筆補助事業を行っています。こ いう方のために、被爆体験記執 では文章にまとめられない」と 記に残したいけど、自分ひとり 一十七年度は十三名の聞き取り 国立広島原爆死没者追悼平和 多言語化、公的機関への提 被爆者の高齢化が

きました。 とのお気持ちが強く、募集開始 から多くのお申し込みをいただ の年にあたり、被爆者の方々も 今、語り残しておかなくては 今年度は被爆七十周年の節目

うに脳裏から離れることがな 被爆の体験は昨日のことのよ 被爆当時の悲惨さを記憶の

> 奥から絞り出すように語られま 齊さん(当時十四歳)の体験記 いただいた体験記から、 感を持って、応募されています。 返してはならいという強い使命 世代に体験を伝え、二度と繰り た思い出したくない体験を初め す。今まで心の奥底に秘めてい (抜粋)をご紹介します。 (話される方も多く、特に若い 今回、執筆をお手伝いさせて

> > 少し歩く場所が違っていたら、

ガラ

のくぎを踏み抜きました。

もう

になり、止めくぎが上を向いて めくれるようにはがれて裏返し

木造の校舎は倒壊し、

いたため、私は逃げる途中にそ

近藤さんは、学校で被爆しま

ドタンドタンと2階の屋根瓦が、ンと大きな音がして、ガラガラ、 ちたと思いました。 の間を歩いていたときです。ド い。きっとこの近くに爆弾が落 落ちてきました。これはおかし ・・・校庭に入って校舎と校舎



聞き取りの様子

り出し、それを外にいる者に手 状態でした。みんなの手当てを れ下げ、肘から下はズルズルの ル剥がれどうにもなりませんで かし、薬を塗ると皮膚がズルズ 渡して応急手当をしました。し 赤チン・ヨウチン・包帯等を取 へ窓を壊して中に入り、油薬・ 壊を免れた教員室の隣の医務室 しなければいけませんので、倒 (後略)

にふれてください。 す。ぜひ、ご来館いただき、被 爆者の「こころ」と「ことば 編の被爆体験記を公開していま のを含め、現在、約十三万五千 当館では、この事業によるも

(原爆死没者追悼平和祈念館)

たオ

外で生活されている被爆者の証 言を収録しています。 祈念館では、国内(県外)や海 国立広島原爆死没者追悼平和

歌山県(一人)、三重県(二人) 国(二人)、ブラジル(一人) 府(三人)、滋賀県(一人)、和 在住の被爆者を収録しました。 在住の被爆者を、海外では、 (八人)、兵庫県 (三人)、京都

ました。夏服の半袖を着ている

ため、皆、ボロボロの皮膚を垂

ました。しかし、後から来た級

舎の陰でやけどもしないですみ ス片を浴びるところでした。 校 屋根瓦の直撃を受けるか、

友たちは皆大やけどを負ってい

だけは白くて真っ黒になってい みると、弟が真っ黒になって死 あった地下から階段を上がって んでいました。児童もみんな歯



収録の様子

今年度は、国内では、大阪府 韓

「気が付いて学校の下駄箱が

のだろう」 ると、家族五人が折り重なり、 へその緒でつながったままの赤 き地獄だ。いったい何があった のこれ』って思った。これが生 骨を集めて持って帰りました」 収容にも行きました。その中に えきれないほどの人が同じ方向 かわからない状態で見つかり、 た老若男女の区別もつかない数 まで皮が垂れ、手を前に垂らし に向かって歩いてくる。『何な とこからどこまでが誰の骨なの 「中島本町の自宅に帰ってみ 「声も出さず、顔から手の先 一横になった市電の中の人を

ちゃんと女性がいました」

の中で座ったままみんな死んで でヒヨコが死んだようでした」 いました。校庭ではまるで農場 帽子をかぶった学生が電車

うだと思うこともありませんで なく、父を心配したりかわいそ これは、この度収録した証言 「恐怖のあまりに泣くことも

状況、その後の生活についても か、県外や海外へ移られた時の の一部です。 証言は、被爆時の状況のほ

て …

語っています。

貸出しをする予定です。 とともに、平和学習資料として 内及びホームページで公開する 収録した映像は、編集後、 館

と考えています。 収録し、後世に伝えていきたい 貴重な被爆証言を少しでも多く 今後も、国内・国外を問わず、

(原爆死没者追悼平和祈念館

記念行事の開催 国際平和デー

慰霊碑に一分間の黙とうを捧げ を!」という平和首長会議の横 世界の停戦と非暴力の日とし るとともに、「平和の鐘」を鳴 断幕を掲げ、正午に原爆死没者 の趣旨に賛同し、本財団でも、 るよう呼び掛けています。こ 日を「国際平和デー」と定め、 和の実現を祈念しました。 らし、核兵器廃絶と世界恒久平 て、この日一日敵対行為をやめ 「二〇二〇年までの核兵器廃絶 国連では、 毎年九月二十

被爆の実相を世界に

5

月十八日に前倒しして実施しま こ重なったため、記念行事を九 なお、昨年は二十一日が祝日



慰霊碑前で黙とうを捧げる参加者

されました。 おいても様々な記念行事が開催 けにより、国内外の加盟都市に また、平和首長会議の呼び掛

平和連帯推進課

体験証言 による海外への被爆

とにより、広く被爆の実相を伝 今年度は、 爆体験証言」を実施しており、 会議システムによる海外への被 世 を結び、被爆体験証言を行うこ ターネットを通じて海外と広島 「論を醸成するため、 平和記念資料館では、 核兵器廃絶に向けての国際 核兵器保有国四か国 「ウェブ イン

感想が寄せられました。また、 る有意義な会議となりました。 参加者の関心の高さが感じられ といった質問や意見が出され、 国に対する憎しみはあるのか. 証言終了後の質疑応答では「米 かされる経験だった」といった い場面が目に浮かんだ。心が動 す。聴講者からは「被爆につい したことから実現したもので れた本事業に興味を持ち、企画 を行いました。これは、 び、貴族院、庶民院両院議員を の英国議会委員会室と当館を結 来広した英国議会関係者が、小 ての鮮明な証言を聴き、恐ろし **馮泰義本財団理事長から紹介さ** 含む議会関係者等約八十人を対 まず七月に、英国・ロンドン 約一時間の被爆体験証言 、四月に

その後の生活について伝えまし 館者を対象に原爆による被害や 、ガスの国立核実験博物館の来 続いて八月には、米国・ラス

には、 生徒たちは、 き入っていました。証言終了後 校生約三十人を対象に実施し、 カンド州ハリドワールの中・高 九月には、インド・ウッタラー お礼として、平和を願う 被爆体験証言に聴

> ゼレノゴルスクの高校生約八十 歌を披露してくれました。 い、「被爆の状況がよく分かっ ハを対象に被爆体験証言を行 また本年一月には、ロシア

を対象に四回行いました。

の実相を伝えます。 活用し、積極的に国内外へ被爆 テムなど様々なツール・媒体を 当館は今後もウェブ会議シス

(平和記念資料館 啓発課

資料調査研究会研究発表会 黒い雨」の壁など

調査研究会の研究発表会が開催 され、三人の研究者が発表しま (土)、広島平和記念資料館資料 した。来場者は約八十人でした。 平成二十七年十一月二十八日

域再生研究所代表) の影響」と題し、GHQによる 日本占領下の都市政策を紹介し 〇石丸紀興会員(広島諸事・地 日本の都市政策へのGHQ

○静間清会員〈広島大学大学院ました。 工学研究院特任教授 「平和記念資料館所蔵の「黒

> 1) 雨」壁面に含まれる原

フォールアウト」と題し、

、「黒い

」の跡が残る壁に関する研究

史をまとめ、自身の行った分析 結果を紹介しました。)水本和実会員(広島市立大学

研究成果を発表

現状と課題について解説しまし PT再検討会議後の核をめぐる 調」と題し、昨年開催されたN 広島平和研究所副所長) 「最新の核をめぐる動向と論

発行の予定です。 報告書にまとめ、今年五月ごろ なお、同研究会の研究成果は

【お問い合わせ】

A(082)241.4004 平和記念資料館



た」との意見などが出されまし

英国議会関係者に対して被爆体験証言を行う 被爆体験証言者

平成28年3月 平和文化 第191号

の受け入れ 連軍縮フェロー

学、原爆死没者慰霊碑への献花

け入れました。 (フェローズ) を、昨年十月七 フェローシップ計画」の研修生 で国連が主催する「国連軍縮 軍縮の専門家を育成する目的 (水)から二日間、 広島に受

爆ドームや原爆の子の像の見 で受け入れを行い、これまでに 年(一九八三年)から毎年広島 る研修事業であり、昭和五十八 交官二十四人が参加し、七日 八百人以上が来広しています。 (一九七九年) から実施してい 「水)に広島に到着した後、原 今回は、二十四か国の若手外 国連軍縮フェローシップ計 国連が昭和五十四年

被爆体験証言を聴講するフェローズー行

らに、小溝本財団理事長から平 参加者と交流を深めました。 を行うとともに、広島平和記念 和首長会議の核兵器廃絶に向け 爆体験証言を聴講しました。さ Dの寄贈を受けるとともに、被 ら被爆の実相を伝える書籍やC 席し、被爆体験証言者など地元 その後、歓迎レセプションに出 悼平和祈念館を見学しました。 た取組などについて説明を受け 翌八日(木)は、広島市民か 国立広島原爆死没者追

ことができました。 絶と世界恒久平和の実現を真摯 について理解を深め、核兵器廃 に願う被爆地の思いを共有する 今回も研修生達は被爆の実相

(平和連帯推進課

第十三回広島市民平 和友好訪中団の派遣

平縮会という) 縮を推進する中国の全国的組織 中国人民平和軍縮協会(以下、 は、平和及び軍

一回広島市民平和友好訪中団 六十三年(一九八八年)に第 本財団と平縮会とは、 昭和

第13回広島市民平和友好訪中団				
団長	きっかわ	<u>げん</u> 元	本財団理事、広島市立大学 広島平和研究所所長	
団員	た わ 丹羽	おおつら 太貫	本財団評議員、放射線影響 研究所理事長	
//	きしだ 岸田	ひろこ 弘子	本財団被爆体験証言者	
//	しらいし 白石	た み こ 多美子	本財団被爆体験証言者	
//	藤井	z a 恵美	本財団平和連帯推進課主査	
//	むかい	たかいち	本財団平和連帯推進課主査	

りです。 京市、南京市及び上海市を訪問から十一月二十七日の日程で北 島市立大学広島平和研究所の けています。十三回目となる今 二十七年間に亘り相互訪問を続 の一行六人が、十一月二十二日 回の訪中では、 しました。主な用務は次のとお 言川元所長を団長とする本財団 行が北京等を訪問して以来、 本財団理事で広

十一月二十三日(月

関係に関する意見交換や今後の 両団体の交流について協議を行 Rui)秘書長ほか関係者と日中 北京市で、平縮会の朱鋭(Zhu

Ī Ī い、青少年を中心に戦争の惨禍 を人々に伝えること、世界の全 ての国が平和になること、核兵

学者が訪れていました。 する展示もしており、多くの見 十一月二十四日(火) 器並びに大規模殺傷兵器の完全 る展示や世界平和への祈りに関 国交正常化や両国の交流に関す 祭しました。同館は、 で意見が一致しました。 な廃絶が大事であるということ **惨さだけではなく、戦後の日中** 中国人民抗日戦争記念館を視

十一月二十五日(水)

側から見た南京事件について理 解を深めました。 遇難同胞記念館を視察し、中国 南京市の侵華日軍南京大虐殺

十一月二十六日(木)

係者と協議を行いました。人と 意見を共有することができまし ていくことが重要であるという 造するために今後も交流を続け 窓館を視察した後、上海市の関 、同士、国籍を超え、平和を創 上海市の上海四行倉庫抗戦記

ンターを訪問しました。教授や その後、復旦大学日本研究セ

をより継続的に有意義にするた

会となりました。今後は、交流

1、民間交流の意義を感じる機

する友好的な言葉が多く聞か

悪化を憂慮する発言や日本に対

今回の訪中では、日中関係の



賀鈞 (He Jun) 副会長 (左から3人目) ほか平縮会 関係者と親交を深めた吉川団長(左から2人目)ら

及び白石多美子団員が通訳を介体験証言者である岸田弘子団員学生十名に対し、本財団の被爆 あり、非常に有意義な交流とな 見や差別の程度に関する質問が 被爆直後の様子や、被爆後の偏 るとともに、意見交換を行いま さず日本語で被爆体験を証言す こた。学生達は熱心に聞き入り、

関係発展に冷静に取り組むこと すが、事実を正確に捉え両国の 識をめぐり様々な問題がありま が重要です。 日本と中国の間には、歴史認

> 流が必要であると考えていま 両国の学生等若者同士の交

> > どの学習、被爆体験証言者の方

からお話を聴くなどして、被爆

の実相を学ぶとともに、他の自

(平和連帯推進課)

治体の小・中・高校生との平和

学習会や長崎市での青少年ピー

サートを 見催 スクラブ

するために、自ら平和の推進に や戦争のない「平和な世紀」と 年度から、二十一世紀を核兵器 クラブ」を設けています。 目的として「中・高校生ピース 取り組む人材を育成することを 広島市と本財団は、平成十四

が参加し、広島平和記念資料館 生から高校三年生までの三十人 の見学や平和公園内の慰霊碑な 平成二十七年度は中学校一年



参加者全員で [Hey 和] を合唱

年代の若者との交流などを通し る被爆ピアノコンサートを開催 島駅南口地下広場で四回目とな は、より多くの人に原爆・平和 スフォーラムへの参加など、同 て平和の大切さを発信してきま に関心を持ってもらうため、広 しました。 十一月二十三日(月・祝)に

ども行いまいした。コンサー 制作やコンサートの出演交渉な 和(へいわ)」を合唱しました。 で音楽グループ「ゆず」の「Hey 発表しました。会場には約三百 や合唱など日頃の練習の成果を アノのソロ演奏のほか、吹奏楽 通う中・高校生約七十人が、ピ 二十四人に加え、市内の学校に ト当日、ピースクラブ参加者 か月をかけて企画し、チラシの 八が訪れ、最後に、参加者全員 ピースクラブの参加者が約二 楽しいひとときを過ごせ

寄せられました。 また二月七日には、長崎市が

を全国に紹介することにより、

広島での平和学習プログラム

日

参加者

張って欲しい」といった感想が

た」、「これからも若い世代が頑

を深めました。 程度の平和学習やボランティア の継承を主目的とし、月に一回 スクラブの参加者十五人が交流 活動を実施)の代表十人とピー 満の青少年を対象に、 養成している青少年ピースボラ ンティア(十五歳以上三十歳未 被爆体験

霊碑の見学等を行いました。 を読み、それぞれの被爆の状況 合った後、平和記念公園内の慰 などについて感じたことを話し まず広島・長崎の被爆体験記

平和を推進していくのかを話す 寄せられました。 良い機会になった」との感想が たちでどのように学習を進め の青少年として、これから自分 参加者からは、「同じ被爆地

(平和記念資料館 啓発課

二十一世紀を生きる子どもたち 四十八人の参加がありました。 すが、過去五年間では最も多い 関係者や旅行会社などを対象と が、一人でも多く広島を訪れ、 り、大阪市では二度目の開催で 今回で二十二回目の開催とな 大阪府大阪市で開催しました。 して、広島平和学習セミナーを を学ぶことができるよう、学校 ヒロシマを知り、平和の大切さ

平和学習とその効果. フレゼンテーション「広島での

学旅行の例を紹介しました。 などのメニューや、 爆体験講話、被爆体験記朗読会 様子や、平和記念公園での学習 和文化都市として復興を遂げる 受け廃墟と化した広島が国際平 などを紹介しました。また、被 原爆によって壊滅的な被害を 広島への修

フレゼンテーション「広島での

のモデルコースの提案や、広島 でできる体験学習を具体的に紹 介しました。 大阪府から広島への修学旅行

催し

ホテルアウィーナ大阪

学校関係者、旅行会社

攸爆体験記朗読の実演等

ラムとして、被爆体験記や原爆 新たな体験型平和学習プログ

> ティアによる実演を行いまし 紹介するとともに、朗読ボラン 詩の朗読会の開催状況を映像で

参加者の声

等の利用の検討もしていきた の意見が多く寄せられました。 意を持ってほしいです。」など もぜひ聞かせて、平和を願う決 い。」、「最後の朗読は、とても た。来年度の下見で、いただい なかった所を教えていただい 下見でまだまだしっかり見てい 心にしみました。子どもたちに るとともに事前の資料貸し出し た資料を使ってしっかり実施す 参加者からは、「体験記等 (原爆死没者追悼平和祈念館



プレゼンテーション風景

学ぶ機会を提供するため、年二 爆体験証言者交流の集い」では、 回、講演会を開催しています。 広く市民の皆様に平和について 本財団が事務局を務める「被

樹木医の堀口力さんを講師に迎います。
平成二十七年度第一回は、 います。 本の被爆樹木の保存に関わって 内に残る五十六か所、約百七十 え、「ヒロシマの木を知ろう」を んは、三十年以上にわたり、市 テーマに開催しました。堀口さ

史や被爆樹木の苗を国内外に届 ける運動、被爆樹木の生態等に 講演は、広島の都市緑化の歴



被爆樹木について説明する樹木医の堀口さん

た。 た」などの感想が寄せられまし 被爆樹木を大切にしたいと思っ 相を語ってくれることに気づき、 終了後、「被爆樹木が被爆の実 講演を熱心に聴いていました。 しか聴くことができない貴重な 木を研究してきた堀口さんから は、樹木医の視点で長年被爆樹 ついて紹介する内容で、参加者

(平和記念資料館 啓発課

多数の力作が寄せられる の原理

コンクール」の表彰式を開催し (土)、「子どもたちの平和の絵 平成二十七年十二月十二日

小・中学校から計二百三十七点 リカ、インド、イラン、韓国)の 催しているもので、今回で三十 に昭和六十一年度から毎年開 ちの平和への意識を高めるため 四千二百二十七点、海外六か国 小・中学校百二十二校から計 回目を迎えました。広島市内の (オーストラリア、ロシア、アメ このコンクールは、子どもた



上 絢音 さん 広島市立矢野南小学校 六年生 大賞(小学校の部)



大賞 (海外の部) Seyede Saba-Mostafavi Montazeri れん イラン/中学二年生

出席し、賞状と記念品の楯が贈 ありました。 者のうち三十三人と保護者らが 合計四千四百六十四点の応募が 表彰式には、大賞・特選受賞

地下一階メモリアルホール前の まで、広島平和記念資料館東館 ホワイエにおいて作品展を開催 同日から翌年一月十五日(金) また、コンクールに合わせて

応募作品のうち、審査で選ば

「収蔵資料の紹介」コーナー

展示場所

階ホワイエ 平和記念資料館 東館地下

展示期間

日(水) (金) ~平成二十八年四月十三 平成二十七年十二月十八日

展示資料

学生ズボンなど実物資料五点

では、平和記念資料館で収蔵し しています。 ナーマに沿って数点ずつを展示 ている約二万点の資料の中から、 「収蔵資料の紹介」コーナー

けられています。 き取っていきました。残された ら亡くなっていきました。必死 月六日、一発の原子爆弾により 言葉は、時を経ても、 最期のことばを残して、息を引 た子どもたちは、看病する母に の思いで家族の元にたどり着い 化し、多くの人々が苦しみなが 広島のまちは一瞬にして廃虚と しみとともに遺族の心に刻みつ 九四五年(昭和二十年)八 大きな悲

られました。

今回は、亡くなった方々の最

品とともに紹介します。 期のことばと遺族の思いを、 遺

【お問い合わせ】

平和記念資料館 (082)241.4004



学生ズボン 寄贈/三上五月 三上直樹君 (左) (当時12歳)の遺品みかみなおき



覚悟しとったよ・・・。 お母ちゃんは だけ大きな戦争で、学徒の僕た らぬうちに息を引きとりました。 ちが生きておられることのないのは 「お母ちゃん、泣いてはいけん、これ 人のためになる事を・・・」と言い切

> せて百二点の作品を展示しまし れた大賞・特選・優秀賞の合わ

~12月31日]

シマキナ

city.hiroshima.jp/)の「キッズ平 などを掲載しています。 選・優秀賞・入選受賞者の名前 和ステーション」に、大賞・特 ホームページ(http://www.pcf なお、広島平和記念資料館

月1日

井上

(いのうえ

エカテリナ

女

昌子

(平和記念資料館 啓発課

·活動依頼期間

小松 智 (こまつ

神門

男

智則

知令

とものり)

記念イベン 「姉妹・友好都市の日」 ノトで活躍 X

【メッセンジャ

ホノルル市

重慶市

担当都市名

ボルゴグラード市

ジャーは、二〇一六年の「姉妹・ ジャー」として委嘱しています。 計十二人をヒロシマ・メッセン の日」を定め、各都市との交流 を行うなど、姉妹・友好都市に 友好都市の日」記念イベントの の拡大と友好親善の促進を図っ 好都市ごとに「姉妹・友好都市 企画・立案への参画、司会進行 に携わります。 (おり、都市ごとに男女各一人、 いて市民の理解を深める活動 この度委嘱されたメッセン 広島市は、海外の六姉妹・友

の国際交流・協力の推進を目指

ラウンジは、開設以来、広島市

広島国際会議場一階国際交流

を記して記さい

国院交流ラウンジ

して、その一翼を担ってきまし

国際交流・協力課

報や、外国人市民のための生活

国際交流・協力に関する情

だいています。

多くの市民に無料でご利用いた

力を入れ、開かれた施設として た。近年では、多文化共生にも

(かんど 池田 克彦 (いけだ カ 渡邊 優子 (わたなべ -バー市 ゆうこ) 野 静 \boxplus 陳 (チン (デン セイ) 林 文子 (はやし 尚起 サンギ) 大邱広域市 あやこ) ジャンベルナール ガリエピ 美帆 川本 (かわもと みほ) て受け付けています。 ル語、スペイン語を使っ ための生活相談コーナー 併設する「外国人市民の ながら、英語以外の言語 学ボランティアと協力し ビス(電話による三者間 また、トリオフォンサー 幅広く提供しています。 タッフが日本語と英語で に役立つ情報などを、 では、外国人市民からの での対応も行っています 通話)を利用し、登録語 相談を、中国語、ポルトガ

ざまな言語の新聞・雑誌 や図書などを自由に閲覧 そのほか、世界のさま

の無料パソコン、公衆無線LA や、除籍図書資料の無料配布イ でき、図書は貸出もしています。 Nの利用もできます。是非国際 スペースや、インターネット用 保管期間が終了した新聞・雑誌 ベントも開催しています。 さらに、学習や会合ができる

も行っています。 援する「小さな国際協力」事業 発途上国での国際協力活動を支 また、古切手などを集めて開

ジは、どなたでも自由に目的に を身近に感じるひとときを過ご 合った利用ができます。みなさ にご利用ください。 んも、国際交流ラウンジで世界 してみませんか。どうぞお気軽 このように国際交流ラウン

【連絡先】

hiroshima.jp E-mail: golounge@pcf.city $\mathbf{3}(082)247.9715$

> 支給しています。しかし、昨今 息により「ひろしま奨学金」を

基金」として積み立て、その利 れた寄附金を「ひろしま留学生 生支援のため、皆様から寄せら

本財団では、外国人私費留学

ひろしま留

学生

にご協力を

場所

広島国際会議場 広島市中区中島町一番五号

ろしま留学生基金」への皆様の

しい状態となっています。「ひ の金利低下により財源は大変厳

温かいご支援をお待ちしており

【時間】

午前九時 午前九時 午後七時(四月~九月)

~午後六時(十月~三月)

(休館日)

十二月二十九日~一月三日



開放的な雰囲気の国際交流ラウンジ

基金へのご寄附に関するお問い 台わせは

(公財)広島平和文化センター 国際部国際交流・協力課

T730-0811

広島市中区中島町 島国際会議場三階 番五号(広

 $\mathbf{3}(082)242.8879$

「ひろしま奨学金」 とは

います。 和六十三年六月から毎年、約外国人私費留学生を対象に、昭 学し、かつ広島市内に居住する 三十人に月額三万円を支給して 広島市内の大学・大学院に在 募により収集した「原爆体験記」

年(一九五〇年)に広島市が公

今年のテーマは、昭和二十五

などを紹介しています。

祈念館では、毎年テーマを定め

国立広島原爆死没者追悼平和

て企画展を開催し、被爆体験記

平成28年 追悼平和祈念館企画展

原爆体験記 ロシマ原点の記録

平成28年1月1日~12月28日 期間 場所 追悼平和祈念館 地下一階 情報展示コーナー

無料

状況が直に伝わってきます。 のであり、被爆の惨状や当時の が鮮明に残る時期に記されたも わずか五年という生々しい記憶 今読み返してみると、被爆後

ます。 韓国・朝鮮語で読むことができ の全文を日本語、英語、中国語、 す。また、十七人の方の体験記 三面スクリーンで公開していま への方の被爆体験記を映像化し、 企画展会場では、このうち三

事になった。以前あれ程、

水には

脇田先生に手を持って戴いて泳ぐ

と、息切れがし、手足は硬直し

恐れなかった私が、途中まで行く

けれど、

験記(抜粋)をご紹介します。 記の中から、中前妙子さんの体今回、展示している被爆体験

時期に、平和な世界を築こうと

過しておらず、傷跡も癒えない です。被爆からまだ五年しか経

いう広島市の呼びかけに多数の

被爆しました。 徒動員として広島中央電話局で 中前さんは当時、 十五歳。学

朝鮮戦争の勃発による東西冷当時まだ日本は占領下にあり、

応募がありました。

催される予定の平和祭はGHQ 戦の激化を受け、八月六日に開

の指示により直前に中止となり

広島平和協会 対岸の比治山へ皆んな避難しだし 来此処も危険と云う事になり、 ……とうとう火も身近に迫って こそと川へ飛び込んで逃げ出し けないと周 囲の人が 止められる た。傷がひどいから川へ入ったらい 鶴見橋が燃え出した。 た。が、たった一つの頼みである ぐづぐづしては居られない。 皆我 (中略)

原爆体験記

「原爆体験記」 昭和25年 (1950年)

広く内外へ配布される計画だっ 抜書きが一冊の本にまとめられ、 れた十八編の体験記と十六編の ました。応募作の中から選定さ

たのですが、結局、長い間倉庫 に眠ったままとなったのです。

広島市が募集した原爆体験記の原稿

今はもう躊躇出来ない 所蔵:広島市公文書館 等を展示しています。また、映 Dでの貸出しも行う予定ですの 像は平和学習資料として、DV $\mathbf{a}(082)543.6271$ 国立広島原爆死没者追悼平和祈 い合わせください。 で、ご希望の方は当館までお問 【お問い合わせ】

追悼平和祈念館の入館者が 三百万人に到達しまし た

らも取り組んでいきたい」とコ

証言の収集や多言語化にこれか

メントを発表しました。

追悼平和祈念館の入館者数

の思いを継承してもらえるよう

です。叶真幹館長から記念品と広島市を訪れた板倉和夫さんの入館者になったのは、観光で いる。二度と戦争はしてはいけ 板倉さんは「知人にも被爆者が える図録、花束を贈呈しました。 ないということを改めて学びた 爆の子(平成二十六年版、平成 和祈念館の入館者数が、 二十七年版)」や原爆被害を伝 して、当館の企画展DVD「原 二十八年二月二日(火)、三百万 へに到達しました。三百万人目 国立広島原爆死没者追悼平

そこで船の人に助けて貰い、

山の救護所へ連れて行って貰った。

先生がその度に励まして下さった。

んだ方がとうつらうつらしていると 苦しい目に会うのだったらーそ死 苦しくなる一 方である。 こんなに

お陰で、川中まで行く事が出来、

爆の恐ろしさ、平和の大切さを を収集、公開しています。また、 爆体験記、被爆証言映像など 祈念・死没者追悼空間」を設け は、平成十四年八月一日の開館 被爆体験記を活用し、戦争や原 前と遺影(写真)の登録及び被 るとともに、原爆死没者のお名 過去最高を記録しました。 成二十六年度の入館者数は約 に達したことになります。 以来、十三年六カ月で三百万人 一十五万三千人と、年度別では

生徒を初め、多くの方々に来館 平和学習で広島を訪れる児童 語り継ぐことを目的とした被爆 体験記朗読会を開催しており 追悼平和祈念館では、「平和

ことができます。また、当館の 展会場と体験記閲覧室で読む tsuitokinenkan.go.jp/) に川人の 方々の体験記を掲載しています。 ホームページ (http://www.hiro-体験記の続きは、館内の企画

会場では、 執筆者に関連する被爆資料

や、原爆体験記を募集した昭和 体験記ととも く中で、祈念館が果たす役割は 生の証言を聞く機会は減ってい い」と感想を話されました。 |高まる。より多くの人に被爆者 叶館長は「被爆者が高齢化し、



三百万人目の入館者となった板倉和夫さん(左)

であったかを紹介する新聞記事

二十五年前後がどのような時代

く内外に情報発信しています。 像のホームページ掲載など、広 開催や被爆体験記・被爆証言映 英語による被爆体験記朗読会の 言語に翻訳しています。また、 国語、韓国・朝鮮語など二十二 爆体験記の一部は母国語で読む ことができるように、英語や中 ていただいています。 海外からの来館者も多く、被 (原爆死没者追悼平和祈念館

ツ連邦・ハノーバー市長 シュテファン・ショストク/ドイ 発信するメッセージ 海外からの来訪者が 広島平和記念資料館芳名録より抜粋、日 本語に翻訳したものを掲載していますー

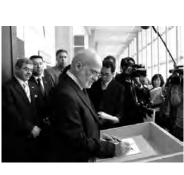


か、驚き感銘をうけました。 めにどれほどの力を尽くされた 器に頼らない平和への願いのた 困難を乗り越えて、武力と核兵 過去七十年間に皆様が見事に

> 帯、友情を表します。 皆様へ心からの敬意と深い連

(二〇一五年八月六日)

IJ イブラヒーム・アル・ジャアファ / イラク共和国外務大臣



至った。 後も十四万人が亡くなるまでに 年八月六日、原爆が投下された。 七万人の犠牲者が生まれ、その 大に保存されている。一九四五 た悲劇の深層を表す遺産が膨 この資料館には、広島で起き

らのイメージは子供、年老いた い犯罪を映し出している。これ れている。 ビル、樹木やその他の生命の証 に関係したものを通じて表現さ ハ々、女性、男性、破壊された 犠牲者のイメージが恐ろし

の中での生きた記憶である。 きかを他者に教える学校であり 続けている。それは歴史の良心 我々はこの悲劇の思い出を消 広島は如何に戦争を避けるべ

> ければならない。 すことはできない。我々はこれ が将来再び起こることを防がな

ために・・ 全ての戦争は例外なく悪である。 広島が平和の象徴であり続ける 戦争には良いも悪いもなく、

(二〇一五年十一月二十六日)

ガニスタン行革担当大統領特別 アフマド・ジア・マスード/アフ



ます。 ていただき、国の利益が無辜な したことに大きな悲しみを覚え ハ々の命を奪い、悲劇をもたら 歴史的な大惨事の資料を見せ

悲劇が起こることのないように 策が行われない世界にする必要 心から願います。 があると共に、再びこのような このような非人道的な国の政

て、平和を希求することを願う ついて、国際社会が一致協力し 日本における歴史的な悲劇に

よう、世界に訴え続けていかれ

た愚かな行為が二度と起きない

ることを願います。

兼ユニタール本部長

記憶に残るものでした。 今回の訪問は心を打たれる、

快活な回復力と希望に満ちてい 館を出た瞬間に、あたり一面が 恋劇が描き出されていましたが 館内では、一九四五年八月の

広島は、平和・希望・回復力

(二〇一五年十二月十八日)

ニキル・セス/国連事務次長補

の都市です。

これからもこの都市が体験し

【書籍の紹介】

と安全保障を

広島市立大学広島平和研究所 編 考える事典

行されました。 と安全保障を考える事典」が刊 島平和研究所が編纂した「平和業の一つとして広島市立大学広 過去から現在までの〈紛争・ 広島市の被爆七十周年記念事

平和・安全保障〉だけでなく、 える執筆陣が平和研究に関する 想・平和運動〉にいたるまで広 範な領域を網羅し、二百人を超 ています。 約千三百の項目について解説し (人権・環境・原子力・平和思

広島市立大学広島平和研究所

編纂

(二〇一六年二月三日)

ページ数 発行年月日 七百十二ページ(A5判 二〇一六年三月二十日

三千六百円(税別

京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町 **®**603 - 8053 株式会社 法律文化社 (お問い合わせ)



・友好都市の日 記念イベント

は、広島市が市民に委嘱したヒ 本財団が市から受託して実施し 念イベントを開催しています。 友好都市の日」を設けて、記 都市提携六都市ごとに「姉妹・ ロシマ・メッセンジャーが務め ています。各イベントの進行役 一〇〇三年からは、この事業を 広島市は、海外の姉妹・友好

ボルゴグラードの日

年度ボルゴグラードの日実行委 催しました。主催―平成二十七 留学生会館で記念イベントを開 昨年九月十三日(日)、広島市

香月さんによるピアノの生演奏ルジアワインなどを飲み、田中いました。ロシア料理と共にグ を聞きながら楽しみました。 ラン「ペチカ」の協力により行 シキで、広島のロシアンレスト 今回の試食はボルシチとピロ

れぞれ挨拶した後、ボルゴグ ラード市から送られた市長の挨 実行委員長、広島市副市長がそ ホールでのセレモニーでは、

> 拶をメッセンジャーの高矢イリ も挨拶がありました。 ナさんが代読しました。在大阪 リーナ・ショールコワさんから ロシア連邦総領事館外交官のマ

ンバーによる踊りが披露される リナさんが、映像と写真を使っ ジャーの重本遼佑さん、高矢イ 員で歌って楽しみました。 と、それに合わせて、会場の全 ました。特に、広島合唱団のメ の楽曲を会場の参加者と合唱し 合唱により、さまざまなロシア トを行いました。広島合唱団の 光、歴史などを紹介しました。 てボルゴグラードの町並み、観 続いて、ロシア音楽コンサー その後、ヒロシマ・メッセン



ロシア音楽コンサ

るお楽しみ抽選会を行い、会場 は大いに盛り上がりました。 最後に、ロシアグッズの当た

> 芸品やボルゴグラード市の風景 どを展示しました。 ア・ボルゴグラード市の紹介展 示コーナーもあり、ロシアの民 フード市から贈られた記念品な 父流の様子の写真や、ボルゴグ このほか、会場内にはロシ

訪れ、姉妹都市交流の和を深め 当日は約二〇〇人の来場者が

重慶の日

味わいました。 場中国・四川料理の一つ麻婆豆レストラン陳」の協力による本 腐や、ゴマ団子、ウーロン茶を 島市留学生会館で記念イベン トを開催しました。主催―平成 一十七年度重慶の日実行委員会 まず来場者は、「スーツァン 昨年十月二十四日(土)、

ジャーの王玉超さんと李潔さんその後、ヒロシマ・メッセン が重慶市の歴史や街の様子、食 を行いました。 慶弁を交えた中国語のミニ講座 かりやすく紹介し、続いて、重 文化等について写真を使って分

され、来場者も一緒に、優雅で ゆったりとした太極拳の動きを 武術、日本中国友好協会広島支 部の皆さんによる太極拳が披露 ハ虹橋の会の子どもたちによる |記念ステージでは、NPO法



黒龍舞術団による変面

舞が披露され、会場は歓声が沸中国伝統芸能の変面と南方獅子 京劇を学んだ黒龍舞術団による。 体験しました。その後、北京で いた記念品等の抽選会を行いま くなど大いに盛り上がり、イベ ントの最後には、重慶市から頂

慶市や中国への理解を深めてい ちぎり絵、中国茶が体験できる 生との交流や中国切り絵、和紙 コーナー等もあり、約二百二十 八の来場者は、楽しみながら重 会場内には中国からの留学

世さんが、会場の大型画面に写

ジャーの猟山主理さんと山本朝続いて、ヒロシマ・メッセン

ポットを紹介したり、ホノルル ル市の歴史や現在人気の観光ス 真や動画を映しながら、ホノル

市にまつわるクイズを行い会場

ホノルルの日

を盛り上げました。

次に、ステージでは南国ムー

平成二十七年度ホノルルの日実 ベントを開催しました。主催 南口地下イベント広場で記念イ 昨年十一月七日(土)、広島駅

れ、会場は優雅なハワイの雰囲 の演奏や華やかなフラが披露さ ドのあふれるハワイアンバンド

行委員会

バーコーヒーとフルーツジュー スでお迎えしました。 まず、来場者をバニラフレー

ホノルル市長の挨拶を行います 行委員長、市長、ビデオによる 「カヒコ」で始まり、その後、実 オープニングは古典的なフラ



華やかなフラのステージ

気で包まれました。

が、ホノルル市について楽しみ 作体験もあり、約六百人の市民 ズの展示販売やリボンレイの制 るハワイ」を合唱し、来場者も イベントに参加することでハワ ーを体験していました。 会場内では、ハワイアングッ 最後には参加者全員で「愛す

玉 際交流

されたこのイベントは、今回で 通り緑地帯などを会場に開催 (日)、広島国際会議場、平和大 - 六回目を迎えました。 平成二十七年十一月十五日

多文化共生、日本文化体験など で国際交流・国際協力活動をし 主催者・共催者代表によるテー べ約一万百五十人が来場しまし 団体が、異文化理解や地球環境、 ている市民団体や企業六十四 ノカットで祝い、広島市や近郊 二十三の多彩な事業を催し、延 イベントの開幕を、ゲストや

世界各国の文化に触れる一日と 参加した外国人も日本人も、

> 共催 法人ひろしま国際センター、 構中国国際センター、公益財団 なりました。(主催 独立行政法人国際協力機 本財団

スリランカ活動報告「それ行け スリランカープ!」 ☆J−CAと広島東洋カープの

ながら理解を深めていました。

国際交流・協力課

りました。 界平和への貢献について、多く きた役割と重なるものがありま の市民が考えを巡らす機会とな 現地での映像や写真を使って紹 ツを通した国際協力の現場を、 見たこと、感じたこと、スポー す。スリランカで野村前監督が 復興のシンボルとして果たして と、カープが戦後広島の平和と いて野球が果たす役割を考える 内戦の傷跡残るスリランカにお いて話を伺いました。今もなお 視察した現地プロジェクトにつ さんがスリランカを訪問した際 えし、平成二十六年七月に野村 前監督をパネリストとしてお迎 介し、広島だからこそできる世 に実施した野球教室や交流試合、 広島東洋カープの野村謙二郎

SONG for ACTION

中原万貴さんが、グローバルに
をいます。の小田貴音さんと
ト「万貴音」の小田貴音さんと
男女ツインボーカルユニッ

と、若者たちとのトークショー の楽曲は、彼らへの取材やアン for ACTION」の初披露 活動する若者への応援ソングと 国際的な活動を彩る応援ソング いる若者がたくさんいます。こ 流や国際協力活動を頑張って して制作した楽曲、「SONG として活用されるとのことです。 た、イベント終了後も、若者の して書き下ろしたそうです。ま ケート、インタビューなどを通 を行いました。広島には国際交

☆世界の料理と民芸品バザー



ひろしま国際村 世界の屋台

ザー」会場も十二団体が参加し 世界の屋台」と称し、十八団体 が世界の様々な屋台料理を販売 緑地帯では、「ひろしま国際村 しました。また、「国際協力バ 国際会議場南側の平和大通り

> す。 の国際協力活動に役立てられま わい、これらの売上は参加団体 た。それぞれ多くの来場者で賑 各国の民芸品などを販売しまし

> > 験、中国結び(中国式組み紐)力、カナダに関するクラフト体

☆国際交流・協力活動の紹介

りました。 の着付けを体験するなど、楽し などの展示を見たり、民族衣装 紹介しました。参加者は、写真 の国際交流・協力活動について 団体がブースを設け、それぞれ いひとときの国際交流の場とな 市民団体や企業など計二十二

☆外国文化・日本文化の紹介と

験や中国、バルバドス、アメリ ティブ・アメリカン・アート体 外国文化の体験では、ネイ



中国結びの体験コ

アスタッフとして参加し、一緒

くの市民や留学生がボランティ

に盛り上げていただきました。

に触れました。 体験し、それぞれの素晴らしさ も日本人も、各国の文化を直接 コーナーを催しました。外国人 いけばな、手描き友禅染めの 統文化の体験では、毎年外国人 の体験コーナーを催し、日本伝 に人気の着物の着付けや茶道

ば、世界の舞踏を披露する屋外 など、各会場は大いに賑わい のコインを寄贈し開発途上国の ポスターの展示コーナー、世界 SA無料相談コーナー、広島市 ントがもらえるクイズラリーや わってクイズに答えるとプレゼ 参加者は国際交流・国際協力に 子どもたちを支援するコーナー 内にある日本語教室を紹介する ら異文化を体験できる地球ひろ ステージ、外国人のためのVI 大人から子どもまで楽しみなが ついて見識を深めていました。 このほか、イベント会場をま また、このイベントには、多

平成28年3月 平和文化 第191号

プロフィール
「やまね みちこ」
2012 年、WFC 理事長に就任。
1987 ~ 1990年、香港在住時に香港赤十字病院とベトナム難民キャンプでボランティア活動。1994 ~ 1995年、米国在住時にホームレスやお年寄りのためのボランティア活動。2001年、外務省支援の"間慮となった元英兵と交流。2010年には3人の被爆者と共に通訳の1人として米国ミズリー州の大学を訪問。
WFC から平和交換使節としてこれまで米国、ドイツ、ボーランド、韓国に派遣された。

平和について思う

フレ と共に

フレンドシップセン 特定非営利活動法人ワールド・ 山根 美智子 理事長

た。 界に視野を拡げることができまし らの素晴らしい人々に出会い、世 きく成長できました。被爆証言の 前半から子育てをしながらWFC センター(WFC)に関わって い奉仕の心を持ち、その働きぶり ですが、皆さん平和主義者で、 長も、それぞれ性格・特技は様々 長は二十五組に及びます。どの館 ました。その内、私が出会った館 がアメリカからWFCに派遣され ランティア活動を通じて、海外か 通訳や平和公園の碑めぐり等のボ に通い続け、自分自身もその間大 三十年以上が経ちました。三十代 にはただ感嘆するばかりでした。 創立以来、約四十組の館長達 強

Silence の上演などの大きな行事 World Peace Concert 開催、シュ れ以来、日常の活動以外に、One 事を行いました。 式典を含め一週間にわたる記念行 ルズ氏の家族など二十七名を迎え、 ら元の館長や故バーバラ・レイノ とても重大な節目を迎え、海外か には、WFC創立五十周年という がありました。そして昨年の四月 モーハウスの開館、米国での日系 の理事長に任命されました。そ 八強制収容を描いた Breaking the 二〇一二年五月に私が三代目

私がワールド・フレンドシップ・

C) の研究 会 害調査委員 員であった 一九五 A B C 原爆傷

されましたが、その碑文にもこの 公園の一角にバーバラの碑が建立 もまた被爆者です」の言葉を残し 爆者の悲しみ苦しみを共有し、「私 らし始めました。アメリカによる ています。二〇一一年に平和記念 女は大きな衝撃を受けました。被 原爆がもたらした被爆の惨状に彼 言葉が刻まれています。 夫アー ルと共に来日し、 広島に暮

平和活動家の原田東岷と共にWF廃絶を訴えました。一九六五年、 など八か国を平和行脚し、核兵器米国、カナダ、英国、ヨーロッパ シマを世界に知らしめた功績によ Cを設立しました。一九七五年に 連れて核保有国を巡り、また 授与されました。 九六四年には被爆者、教師、医 一九六二年に二人の被爆者を 通訳者など四十二人を連れて 広島市特別名誉市民の称号を 核兵器廃絶運動に尽力しヒロ

WFCの主な活動紹介

は、「二度と同じような苦しみを を受け入れ、希望があれば被爆証 言を提供しています。被爆者の方 WFCは世界各地からの宿泊客

フレンドシップ・センター

米国人バーバラ・レイノルズは、

バーバラ・レイノルズとワールド・

す。 え するかは重要な課題となっていま 聞ける貴重な時間は限られていま 訳のお手伝いをしてきました。被 う気持ちで、自らの体験を語られ す。WFCにとっても、今後どう 爆者の方の平均年齢が八十歳を超 他の人に味あわせたくない」とい ています。私も長く被爆証言の俑 被爆者の方から直接、 体験を

碑めぐり

強会も毎月一回開いています。 の重要な碑を一時間半ぐらいかけ て説明しています。そのための勉 英語で案内しながら、平和公園

平和交換使節(PAX)

あう素晴らしい機会を提供してき 史を学び、平和構築について学び 年から始まり、お互いの過去の歴 考えです。韓国PAXは二〇〇三 戦争を防ぐというのがバーバラの 生え、友情が生まれます。友情が 話し合えば、そこに相互理解が芽 国との間で平和使節交換プログラ 礎となっています。アメリカ、韓 実施した平和巡礼が、PAXの基 ムがあります。人と人とが出会い バーバラが一九六二、六四年に

むつみ園慰問

年に舟入病院の隣に建設されまし古い原爆養護ホームで、一九七〇 と一緒に原爆養護ホームを訪問し 曜日に、館長や英語クラスの仲間 ています。 一九八五年から月一 むつみ園は日本で一番 回

> います。WFCは退屈しない所で れの方の誕生祝いなどをしていま を連れて行くと喜んでくださり、 た。 たり、お話をしたり、その月生ま てもお元気で、私が腹話術の相棒 その他にも様々な活動を行って 緒に歌を歌ったり、ゲームをし 約百人の入居者の皆さんはと

(平成二十八年二月寄稿)

ます。 が、ご理解とご協力をお願いし います。ご不便をおかけします 東館の常設展示室等を閉鎖して (二〇一六年)十月(予定)まで、 す。これに伴い、平成二十八年 在東館の改修工事を行っていま 広島平和記念資料館では、現

ルを、本館ギャラリーで展示し 東館の展示内容を要約したパネ ままで変更はありません。また、 だいていますが、入口は東館の ています。 現在は、本館のみをご覧いた

ブサイト(http://www.pcf.city ついては平和記念資料館ウェ hiroshima.jp/)をご覧ください。 改修工事のスケジュールに

【お問い合わせ】

A(082)241.4004 広島平和記念資料館 学芸課